



## 2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社中央経済社ホールディングス  
 コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 杉原 茂樹

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	632	3.1	49		48		36	
2019年9月期第1四半期	652	6.6	23		19		22	

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 33百万円 ( %) 2019年9月期第1四半期 35百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	9.65	
2019年9月期第1四半期	5.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	4,930	3,931	79.7
2019年9月期	5,121	4,002	78.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 3,929百万円 2019年9月期 4,000百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		10.00	10.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,565	4.3	32	98.5	37	58.8	26	64.5	6.97
通期	3,089	0.4	72	3.4	84	1.6	60	21.0	16.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	4,398,464 株	2019年9月期	4,398,464 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	667,881 株	2019年9月期	667,881 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	3,730,583 株	2019年9月期1Q	3,730,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境改善を背景に、全体として緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税率の引き上げとともに、東日本の広域に甚大な被害をもたらした台風の影響なども重なり、消費マインドの低下が見られました。一方、米中貿易問題への懸念や英国のEU離脱などの懸念材料も多く、先行きの不透明感が強まっております。

また、当社グループが属する出版業界では、話題となったコミックの発売による好影響があったものの、全体の底上げまでには至らず、書籍・雑誌の推定販売金額は前年同期比マイナス4.9%（出版科学研究所）となり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、前期に引き続き新しい顧客層の開拓に挑戦し、顧客ニーズを満たすコンテンツ開発、返品減少対策を主要なテーマに活動しましたが、書籍、雑誌の返品率は下がったものの、新刊点数・部数及び増刷点数が前期を下回ったことや消費税率引き上げなどの影響により売上が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は632百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業損失49百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）、経常損失48百万円（前年同四半期は経常損失19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

## (出版事業)

会計分野では、IFRSに関する実務書として『詳解IFRSの基盤となる概念フレームワーク』を、また会計学の研究書として『税務会計と租税判例』、実務書として『株式報酬の会計実務』を刊行いたしました。

経営・経済分野では、今日的なテーマとして『なぜ組織は個を活かせないのか』『日本の戦略的経営者報酬制度』『労働・職場調査ガイドブック』を刊行いたしました。また、ベーシック+（プラス）シリーズの続巻として『経営戦略』『経営組織』を刊行し、好評でした。

税務分野では、消費税法の第一人者が著した『消費税法講義録』、中国ビジネスに対応した『最新中国税務&ビジネス』を刊行いたしました。また、国際税務に関して『デジタル課税と租税回避の実務詳解』が好評でした。

法律分野では、企業のリスク面に焦点を当てた『すぐに使える！企業の危機管理書式集』『図解不祥事の予防・発見・対応がわかる本』『懲戒処分の基本と実務』、最新の法務を扱った『実務・労働者派遣法概説』『テクノロジー法務』を刊行いたしました。また、「Q&Aでわかる業種別法務」シリーズの続巻として『自治体』『医薬品・医療機器』が好調でした。

企業実務分野では、経理・財務に関連した『「経理」の本分』『CFOポリシー』が部数を伸ばしました。さらに、外資系企業の日本進出を見据えた『和英対照インバウンド会社設立ガイド』、不動産関係者向け『Q&Aでわかる地価公示の見方・活かし方』を刊行いたしました。

資格試験分野では、日商簿記検定試験対策として『スカット！解ける日商簿記2級商業簿記』及び『スカット！解ける日商簿記2級工業簿記』、司法試験対策として『司法試験・予備試験Q&A50 論文答案ってどう書くの？』、行政書士試験向け『大原メソッド！行政書士40字記述がラクラク書ける本』を刊行いたしました。

生活・実用分野では、新規顧客及び商流の積極的な開拓を行い、コンビニ専用商品『図解 介護のお金とサービス』が好調なほか、米国や韓国で話題となった『「その日」の前に』をはじめとした単行本を刊行するとともに、カレンダーのラインナップを拡充したことなどにより業績が改善し、増収、増益となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は604百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業損失は53百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

## (出版付帯事業)

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、広告媒体が多様化し紙媒体への広告が減少する中、いくつかの新規取引先を開拓いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は28百万円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益4百万円（前年同四半期比53.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品の増加49百万円及び未収還付法人税等の増加10百万円があったものの、現金及び預金の減少146百万円、受取手形及び売掛金の減少83百万円及び仕掛品の減少36百万円等による流動資産の減少203百万円があったことによるものです。

(負債)

負債は998百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少67百万円及び返品調整引当金の減少49百万円等による流動負債の減少123百万円があったことによるものです。

(純資産)

純資産は3,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。これは主に期末配当金の支払い等による利益剰余金の減少73百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年11月7日に公表いたしました「2019年9月期 決算短信」に記載の業績予想に、現時点で変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,252,915	1,106,099
金銭の信託	600,034	600,034
受取手形及び売掛金	1,027,344	943,563
有価証券	141,682	144,141
商品及び製品	470,133	519,969
仕掛品	77,987	41,515
原材料及び貯蔵品	3,105	1,164
その他	76,455	89,890
貸倒引当金	△2,544	△2,478
流動資産合計	3,647,114	3,443,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,620	89,131
土地	977,079	980,229
その他(純額)	10,858	10,817
有形固定資産合計	1,078,559	1,080,177
無形固定資産		
投資その他の資産	36,786	35,830
投資有価証券	198,430	197,708
繰延税金資産	93,458	106,008
事業保険積立金	46,621	47,388
その他	20,396	19,733
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	358,883	370,814
固定資産合計	1,474,229	1,486,822
資産合計	5,121,343	4,930,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,482	386,696
未払法人税等	6,789	2,737
返品調整引当金	85,099	35,577
賞与引当金	48,863	15,727
その他	184,346	215,021
流動負債合計	779,580	655,758
固定負債		
退職給付に係る負債	321,605	325,489
その他	17,850	17,581
固定負債合計	339,455	343,070
負債合計	1,119,036	998,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,669,552	3,596,225
自己株式	△299,711	△299,711
株主資本合計	3,956,824	3,883,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,232	46,118
その他の包括利益累計額合計	43,232	46,118
非支配株主持分	2,249	2,276
純資産合計	4,002,306	3,931,893
負債純資産合計	5,121,343	4,930,722

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	652,976	632,874
売上原価	481,387	483,915
売上総利益	171,588	148,959
返品調整引当金戻入額	50,246	49,522
差引売上総利益	221,834	198,481
販売費及び一般管理費	244,982	247,694
営業損失(△)	△23,147	△49,213
営業外収益		
受取利息	203	191
受取配当金	2,021	1,848
投資有価証券評価損戻入益	1,568	-
為替差益	-	199
その他	268	573
営業外収益合計	4,061	2,812
営業外費用		
投資有価証券評価損	-	2,329
為替差損	37	-
営業外費用合計	37	2,329
経常損失(△)	△19,123	△48,730
税金等調整前四半期純損失(△)	△19,123	△48,730
法人税、住民税及び事業税	681	894
法人税等調整額	2,236	△13,634
法人税等合計	2,917	△12,739
四半期純損失(△)	△22,040	△35,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	26
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,064	△36,017



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△22,040	△35,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,068	2,885
その他の包括利益合計	△13,068	2,885
四半期包括利益	△35,108	△33,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,132	△33,131
非支配株主に係る四半期包括利益	24	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。また、当社グループは、全セグメントに占める「出版事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。